政策コメンテーター報告（第２回、意見照会期間：2014年９月24日～10月６日） 嶋中 雄二：三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社参与 景気循環研究所長

質問事項		選択式回答	記述式回答
経済動向			
1-1	現在の経済状況について、関連する業界、地域等の現状やご自身の知見・経験等を踏まえ、3か月前(6月下旬から7月上旬)と比べて良くなっているか、悪くなっているか選んでいただき、その理由をデータや具体的な事例とともに300字以内でご記入ください。その際、前年との違い等お気づきの点があれば併せてご記入下さい。	良くなっている	6、7月平均の鉱工業生産指数（10年=100）の水準が、96.8であったのに対し、製造工業生産予測指数の前月比伸び率で延長した9、10月平均の生産指数の水準は101.1と、4.4%の上昇となる。また、日銀短観9月調査の大企業・製造業の業況判断DI(「良い」－「悪い」)の水準は、6月調査比1ポイント改善しており、製造業から見た景気は、3ヵ月前に比べて「良くなっている」と考えられる。但し、短観でも、中堅・中小企業の製造業、また大企業を含めた非製造業では悪化している。生産も、2月から8月までは8.1%低下した。直近の持ち直しに至る過程で、軽い景気後退並みの局面があったとみられ、生産や業況判断が、持続的な上昇傾向で推移していた前年とは大きく違っている。
1-2	今後の経済のリスク要因（第1回時点と比較して変化がある場合）、あるいは将来への新たな期待要因について、300字以内でご記入ください。	－	米国FRBによるゼロ金利解除の前倒しリスクがやや増加した。新規失業保険申請件数との間の過去の相関から、米国の失業率は15年春にも5%を割る可能性があり、今後インフレ率が加速すれば、このリスクはさらに高まろう。中国と欧州では、景気失速リスクが増加した。中国では、新築住宅価格が前年割れしつつあり、欧州でも、企業マインドの落ち込みが続く中、消費者物価が鈍化して、デフレが懸念されている。中国は香港デモの影響も無視できない。 一方、為替レートが一時1ドル=110円台にまで円安が進むのに連動して、日経平均株価が一時6年10ヵ月振りの水準まで上昇したことは、景気の先行指標としての株価の重要性を考えれば、大いに期待できる材料だが、持続性には不安も残る。
経済再生と両立する財政健全化			
2	財政健全化に向け、歳出削減等を始めとして様々な取組が考えられますが、具体的取組内容についてのお考えを300字以内でご記入ください。	－	財政健全化目標の達成のための戦略は、アベノミクスと同様に、同時かつ全方位型で実施されるべきである。財政健全化の第1の矢は、強い経済成長の実現である。中長期の景気循環の局面が2020年の東京五輪に向け上を向いている現状を捉え、アベノミクスの3本の矢を総動員し、高目の名目経済成長率を実現して行くべきだ。 財政再建の第2の矢は消費増税であり、累増する社会保障支出の財源を捻出するため、15年10月における2%の引き上げは避けられない。財政再建の第3の矢は歳出削減であり、機動的な財政出動や国土強靭化への政策措置は確保しつつ、行財政改革を徹底し、生産性の高い公的なサービスを実施して行かねばならない。

政策コメンテーター報告（第２回、意見照会期間：2014年９月24日～10月６日） 嶋中 雄二：三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社参与 景気循環研究所長

質問事項		選択式回答	記述式回答
女性の働き方に中立的な税制・社会保障制度等の在り方			
３－１	どのように女性の働き方に中立的な社会制度を実現していくべきとお考えか、その理由とともに300字以内でご記入ください。	－	回答なし
３－２	女性の働き方に中立的な制度を論じるに当たって、その背景にある事項（女性が働くことへの人々の意識や職場慣行、男性の働き方、子育て支援等の環境整備、家族のあり方等）について、特に言及すべきことがありましたら300字以内でご記入ください。	－	回答なし